

# 第18回 定期総会



海老名災害ボランティアネットワーク

<http://www.ebina-saibora.net>

日時：平成31年4月13日(土) 午後2時より

会場：海老名市総合福祉会館 2階 (第1・2会議室)

## 第18回 定期総会

日 時／平成31年4月13日（土）午後2：00より

会 場／海老名市立総合福祉会館 2階 第1・第2会議室

### 式 次 第

1. 開会の言葉
2. 代表あいさつ
3. 来賓あいさつ
4. 議長及び書記の選出
5. 議 事

第1号議案	平成30年度事業報告	……	3頁
第2号議案	平成30年度収支決算報告 会計監査報告	……	5頁
第3号議案	平成31年度役員選出(案)	……	6頁
新役員紹介			
新会長挨拶			
新役員紹介			
第4号議案	平成31年度事業計画(案)	……	7頁
第5号議案	平成31年度予算(案)	……	8頁
6. その他
7. 閉会の言葉

以上

(第1号議案)

**平成30年度 事業報告(1/2)**

平成30年度は、次に掲げる事業を行なった。(活動の詳細日程は次頁の付表を参照)

**1. 市民の自然災害への対応能力(自助・共助)を高める活動**

海老名市民が自然災害(地震・風水害・土砂災害など)に直面した時、その被害を最小限に抑える対応能力を身に着けるための活動を進めた。

- ①体験型講座「減災・災害対応訓練」を開催 (2018年11月)  
家庭で出来る減災対策(自助)として家具転倒防止、水と食糧の日常備蓄・炊飯体験、水を使わない水洗トイレの使い方、災害時の明かり、通電火災防止などを市民向けに開催した。
- ②「災害図上訓練(DIG)地震偏」の体験学習会を開催 (2018年12月)  
自然災害(地震や風水害など)に対して自分が住んでいる地域がどのような弱さ(危険箇所など)と強さ(特色)を知り地域の減災力(自助+共助)の向上をめざす図上訓練を開催。
- ③自治会・各種団体主催の自主防災訓練への参加・協力 (2018年11月~12月)  
自治会主催の自主防災訓練や大和法人会など各種団体の主催する防災講演会などに参加・協力した。
- ④小学生への防災・減災訓練の実施 (2018年7月)  
有鹿小学校の「えびなっ子スクール」で、三角テント設置訓練とシェイクアウト訓練を実施した。  
「福祉教室」(社協が中心)に「防災ポーチの活用」を提案したが、応募する小学校はなかった。
- ⑤海老名市民への広報活動:「海老名災害ボランティアネットワークだより」の発行 (18年5月、12月)  
海老名市内の全自治会(63自治会)に配付し、自然災害への関心を高め、それに対する対策の実践をPRしている。(年2回、海老名市内の全自治会で回覧)、ホームページによる情報提供

**2. 「海老名市災害救援ボランティアセンター」の設営・運営に関わる活動**

大規模な自然災害が発生し、海老名市または周辺地域が大きな被害を被った場合に海老名市長からの要請を受けて海老名市社会福祉協議会が中軸となって「海老名市災害救援センター」が設置されることになっている。その時に備え次の活動を行なった。

- ①災害救援ボランティアセンターのスタッフ養成(コーディネーター養成講座(2019年2月))  
海老名市で災害救援ボランティアセンターが設置された時に、センターのスタッフとして働ける人材(コーディネーター)を養成する講座を海老名市社協との共催で開催した(年1回)
- ②神奈川県や海老名市が主催する防災訓練などへの参加・協力 (2018年8月)  
2018年に実施された「ビッグレスキューかながわ」平成30年度神奈川県・海老名市合同防災訓練に参加した。その後、災害救援ボランティアセンターの設置・運営マニュアルの見直しを市社協と協力し実施した。毎年開催される「ビッグレスキューかながわ」に参加している。
- ③海老名市危機管理課・海老名市社会福祉協議会との定期的な情報交換・相互協力  
海老名市で防災・減災に関係する3者(海老名市危機管理課、海老名市社協、海老名災ボラ)、は、月に1回程度、顔を合わせて情報交換と相互協力を進めた。

**3. 大規模災害が発生した場合、被災地・被災者支援のボランティア活動へ参加**

海老名災ボラは、阪神淡路大震災(1995年)の後、2001年12月に結成された。

それ以降、全国各地で大規模な自然災害が起きた時には、神奈川災害ボランティアネットワークと協力して被災地・被災者支援活動に参加している。東日本大震災(2011年3月11日)では、海老名市社協や神奈川災ボラと協力してボランティアバスを出した。

- ①2018年6月に発災した西日本豪雨災害での被災地支援活動、(2018年7月~19年2月)  
神奈川災ボラのボランティアバスで岡山県の被災地(総社市、倉敷市)で、支援活動を展開した。

**4. その他の活動**

- ①海老名市ボランティア連絡協議会に加盟し、ふれあい交流会やボランティアフェスタに参加した。
- ②イオン海老名店で幸せの黄色いレシートキャンペーンに参加し災ボラの活動をPRした

## (第1号議案)付表

## 平成30年度 事業報告(2/2)

期間:平成30年4月1日～平成31年3月31日

月	日	曜日	内 容	会 場、参加者数	会員
	3	火	会計監査	市総合福祉会館	5
	7	土	イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン贈呈式	イオン海老名店	2
4	11	水	ビッグレスキューかながわ2018第1回全体会議	市役所401会議室	2
	14	土	第17回定期総会	市総合福祉会館1Fげんきひろば	21
	24	火	ビッグレスキューかながわ第1回作業部会	市役所701会議室	2
	1	火	ネットワークだより32号発刊	市内自治会回覧	
5	12	土	かながわ・よこはま防災ギャザリング	沢渡公園・よこはま防災センター	6
	29	火	ビッグレスキューかながわ第2回作業部会	市役所702会議室	3
	1	金	海老名市ボランティア連絡協議会(通称・ボラ連)に加盟		
	8	金	ボラ連研修会	門沢橋 神奈川西郵便局	2
6	11	月	イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンPR活動	イオン海老名店	3
	12	火	神奈川災害ボランティアネットワーク総会	かながわ県民サポートセンター	2
	15	金	神奈川災ボラボランティア部会実行委員会ビッグレスキュー関連	かながわ県民サポートセンター	1
	3	火	ビッグレスキューかながわ第3回作業部会	市役所701会議室	4
	14	土	神名川災ボラ主催コーディネーター養成講座(初級)	市総合福祉会館	12
	15	日	中央3丁目夏まつりで「災害時トイレの使い方」の展示と説明	県水会館駐車場 520名参加	4
7	17	火	ビッグレスキューかながわ 事前シミュレーション	市総合福祉会館駐車場	7
	20	金	～22神名川災ボラ西日本豪雨被災地支援ボランティアバス第1便	岡山県総社市	3
	25	水	有鹿小学校えびなっこスクール	有鹿小学校3階601教室	5
	26	木	神名川災ボラボランティアバス第2便研修会	かながわ県民サポートセンター	1
	3	金	ビッグレスキューかながわ第2回全体会議	市役所401会議室	3
	4	土	海老名3館フェスタ(ボランティアフェスタ)	市総合福祉会館 災ボラブース 100名	9
8	7	火	～9神名川災ボラ西日本豪雨被災地支援ボランティアバス第1便	岡山県倉敷市	1
	24	金	ビッグレスキュー会場へ資機材搬入	県立三川公園	6
	26	日	ビッグレスキューかながわ2018県市合同防災訓練に参加	県立三川公園 ボラセン167名参加	15
	11	火	イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンPR活動	イオン海老名店	5
	22	土	～24神名川災ボラ西日本豪雨被災地支援ボランティアバス第6便	岡山県倉敷市	2
10	3	水	海老名市国民保護協会	海老名市役所6階	1
	6	土	海老名市社会福祉協議会主催 赤い羽根街頭募金	海老名駅西口自由通路	1
	4	日	東柏ヶ谷1・2丁目自治会合同防災訓練(映像と講話)	柏ヶ谷コミセン集會室 70名参加	2
	17	土	サンバルク650自治会役員予備講習会	サンバルク650管理棟 20名参加	2
11	18	日	サンバルク650自治会員対象防災訓練	サンバルク650管理棟 40名参加	3
	21	水	海老名市防災セミナー(大和法人会主催)に協力	海老名市役所401会議室 80名参加	3
	24	土	体験型講座:減災対応訓練	総合福祉会館 26名参加	12
	25	日	第9回海老名ふれあい農業まつり 防災減災PR活動	JAさがみグリーンセンター	4
	1	土	ネットワークだより33号発刊	市内自治会回覧	
	1	土	海老名市社協主催年末助け合い共同募金	海老名駅西口・東口	1
	2	日	上今泉コミセン祭り 防災・減災のPR活動	上今泉コミセンと付近の公園 1,100名参加	3
12	2	日	海老名コーボラス自主防災訓練 防災・減災PR活動	コーボラス団地 112名参加	4
	8	土	災害図上訓練(DIG)防災マップ作り体験学習会	市総合福祉会館 20名参加	8
	9	日	市社協・ボラ連・市障がい者団体連合会共催ふれあい交流会	レンブラントホテル 127名参加	2
	11	火	イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンPR活動	イオン海老名店	2
1	11	金	イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンPR活動	イオン海老名店	2
	19	土	海老名市防災講演会参加	市役所401会議室 400名参加	6
	5	火	ボラ連加盟団体研修会 災害(地震・水害)対応講座	市総合福祉会館 80名参加	9
2	6	水	「かながわの広域災害ボランティアを考える」講演会	かながわ県民サポートセンター	3
	17	日	災害救援ボランティアコーディネーター養成講座(座学)	市総合福祉会館 32名参加	9
	24	日	災害救援ボランティアコーディネーター養成講座(立上げ訓練)	市総合福祉会館 31名参加	7
3	9	土	海老名市地域婦人団体連絡協議会「くらしのセミナー」に協力	市文化会館351 42名参加	3

海老名災ボラ、定例会12回:4/5 5/10 6/7 7/5 8/2 9/6 10/4 11/1 12/6 1/10 2/7 3/7

市・社協・災ボラ定例会12回:4/19 5/15 6/25 7/6 8/10 9/20 10/25 11/28 12/20 1/18 2/27 3/25

ボランティア連絡協議会定例会8回:6/8 7/13 9/14 10/12 11/9 12/14 2/5 3/8

神名川災害ボランティアネットワーク関係:理事会、6/12 7/16 1/29 運営委:7/3,24,26 8/28 10/2,23,3/26

(第2号議案)

### 平成30年度 海老名災害ボランティアネットワーク収支決算報告

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

#### 【一般会計】

(収入の部)

(単位：円)

科目	予算額(A)	決算額(B)	増減額 (B-A;△減)	備考
1 会費収入	85,000	78,000	△ 7,000	
(個人会員)	50,000	44,000	△ 6,000	2,000×22口 (22名)
(賛助会員)	20,000	23,000	3,000	1,000×23口 (12名)
(団体会員)	15,000	11,000	△ 4,000	(3団体)
2 事業収入	10,000	47,340	37,340	防災講演会講師謝礼、他
3 寄付収入	27,000	30,625	3,625	イオン「黄色いレシート キャンペーン」他
4 雑収入	1,000	5,841	4,841	炊飯袋販売代、受取利子
5 前年度繰越金	227,195	227,195	0	
合計	350,195	389,001	38,806	

#### (支出の部)

科目	H30年度予算(A)		決算額(B)		増減額 (B-A△減)	備考
	事業費	事務費	事業費	事務費		
1 事業費	150,000		27,575		△ 122,425	各種講座材料費
2 通信費		15,000		15,747	747	郵送代
3 事務費		20,000		41,568	21,568	封筒、コピー用紙、インク、他事務用品他
4 会議費		10,000		0	△ 10,000	会場費
5 会費		20,000		19,000	△ 1,000	県災ボラ、海老名社協会費
6 広報費	70,000		11,420		△ 58,580	ネットワークだより印刷代(年2回)
7 交通費		20,000		48,146	28,146	市外研修会、各事業等参加
8 予備費		45,195		0	△ 45,195	
小計	220,000	130,195	38,995	124,461	△ 186,739	
合計		350,195		163,456	△ 186,739	

収入額 389,001 円 - 支出額 163,456 円 = 225,545 円 <次年度繰越金>

#### 【特別会計】

(収入の部)

科目	決算額	備考
1. 寄付収入	20,000	NPO地球グリーンフォーラム
2. 前年度繰越金	58,000	
合計	78,000	

(支出の部)

科目	決算額	備考
活動補助費	32,000	平成30年7月豪雨災害被災地支援活動費@¥4,000×8回
合計	32,000	

収入額 78,000 円 - 支出額 32,000 円 = 46,000 円 <次年度繰越金>

会計 松井 俊輔  
会計 三宅 良子

#### --- 会計監査報告 ---

代表 福田 博 殿

平成30年度(平成30年4月1日より平成31年3月31日まで)の  
海老名災害ボランティアネットワーク会計について、監査結果を下記の通り報告します。  
平成31年4月1日 関係帳簿、領収書等の監査の結果相違ないことを認めます。

会計監査  
会計監査

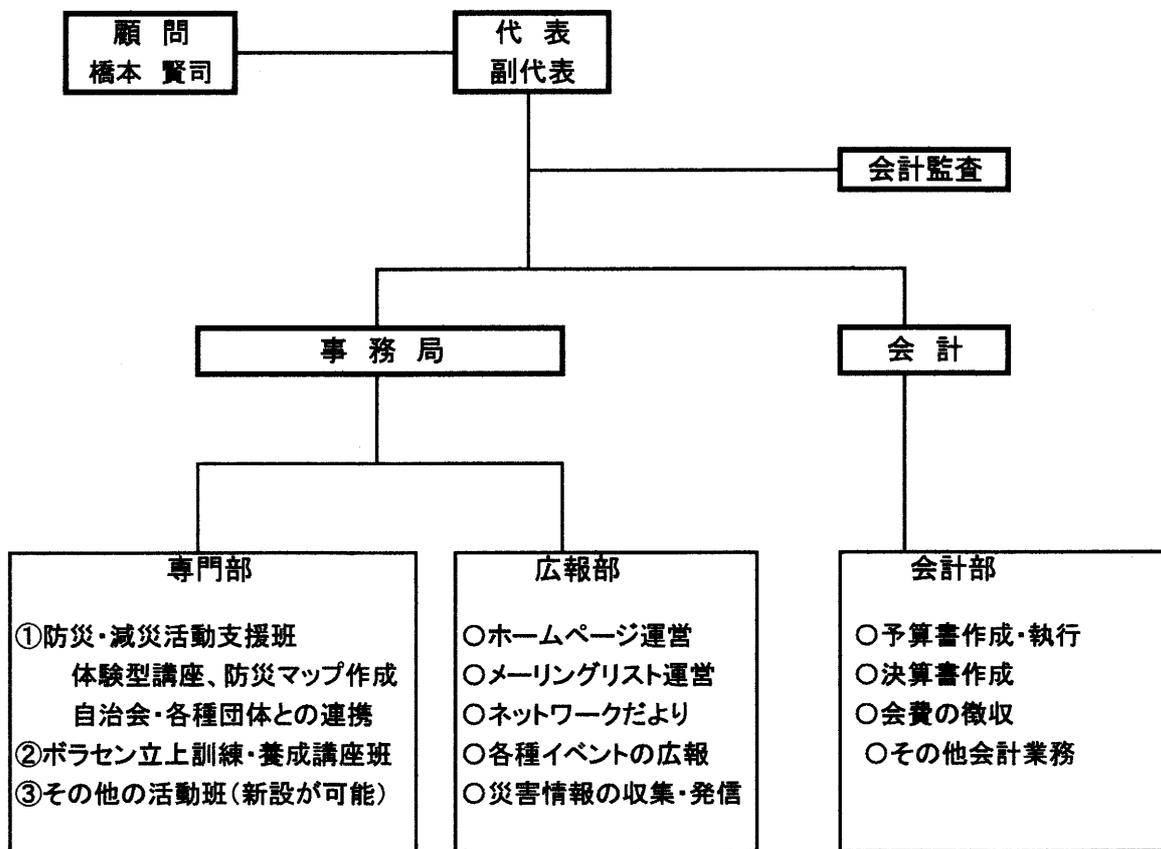
永山 八郎  
野本みどり

(第3号議案)

### 平成31年度役員(案)

代表	福田 博
副代表	水本 晶子 星野隆一郎
会計	松井 俊輔 小澤 昌平
事務局	野中義彦・館登志子(広報部) 中村敏一・山下康秀(専門部①) 佐々木茂・吉野達志(専門部②) 三宅良子 (専門部③)
会計監査	永山 八郎 野本 みな子

(組織図)



※定例会:海老名災ボラの運営に関わる会議、毎月開催

※役員会: 必要に応じて開催

※専門部会・班別会議: 必要に応じて開催

(第4号議案)

## 平成31年度事業計画(案)

(2019年4月1日～2020年3月31日)

平成30年度の事業を引き継ぎ、より多くの市民の参加を得るように努める。

### 1. 市民の自然災害への対応能力(自助・共助)を高める活動を進める

- ①「体験型減災・対応訓練」を開催し、市民の自助能力の向上を進める。(2019年6月～8月頃)
- ②「災害図上訓練(DIG)」(地震及び風水害)の体験学習会を開催する。(2019年6月～8月頃)
- ③自治会・各種団体主催の自主防災訓練に協力し、自助・共助の前進を図る。
- ④小学生の自然災害への関心と対応力の向上を進める。「福祉教室」、「サマースクール」への協力
- ⑤海老名市民への広報活動の充実を図る。「海老名災ボラだより」(6月1日、12月1日、回覧)  
海老名災ボラのホームページを充実する。(より多くの市民に読まれる内容に努める)。

### 2. 被災地被災者支援のボランティア活動に参加・協力する

- ①大規模な自然災害が全国各地で起きた場合、神奈川災害ボランティアネットワークなどと協力し、被災地・被災者支援活動に参加する。
- ②被災地・被災者支援に関わる募金活動や救援物資の送付活動などに参加・協力する。

### 3. 海老名市災害救援ボランティアセンターの設置運営に参加・協力する

- ①「災害救援ボランティアセンター」の設置運営訓練に参加・協力する(海老名市社協に協力)。
- ②「コーディネーター養成講座」に参加・協力する(海老名市社協に協力)。 2020年2月頃
- ③神奈川県や海老名市が主催する防災訓練に参加・協力する(「ビックレスキューかながわ」など)。

### 4. 行政・社協や他団体と連携・協力して防災・減災活動を進める

- ①海老名市や海老名市社協と連携・協力して防災・減災活動を進める。
- ②「海老名市ボランティア連絡協議会」の活動に参加・協力する。
- ③自治会(自主防災組織)や各種団体と連携・協力して防災・減災活動を進める。
- ④海老名市外の団体(神奈川県内や県央地域)と連携・協力して防災・減災活動を進める。

### 5. 海老名災ボラの会員相互の情報共有、スキルアップ、会員の拡大を進める

- ①災ボラ会員間の情報共有を進める。(定例会、メーリングリスト、ホームページなどの活用)
- ②様々な機会を利用して、災ボラ会員のスキルアップを図る。(防災講演会や体験型訓練へ参加)
- ③市民向けの体験型講座や各種事業に、災ボラ会員も参加し、市民と一緒にスキルアップを図る。
- ④被災地被災者支援活動に参加し、そこでの活動経験から学ぶ。
- ⑤「災害弱者」(高齢者・障害者・外国人、幼児など)との交流を促進する。
- ⑥海老名災ボラの様々な事業を梃子に、災ボラ会員の拡大を図る。

(第5号議案)

平成31年度 海老名災害ボランティアネットワーク予算(案)

(2019年4月1日より2020年3月31日まで)

(収入の部)

(単位：円)

科 目	H31年度予算(A)		前年度予算(B)		増減額 (A-B△減)	備 考
	事業費	事務費	事業費	事務費		
1 会費収入	85,000		85,000		0	
(個人会員)	56,000		50,000		6,000	2,000× 28 口 (28人)
(賛助会員)	20,000		20,000		0	1,000× 20 口 (20人)
(団体会員)	9,000		15,000		△ 6,000	3,000× 3 口 (3団体)
2 事業収入	20,000		10,000		10,000	福祉教室他
3 寄付収入	27,000		27,000		0	イオン「黄色いレシートキャンペーン」他
4 助成金	70,000		0		70,000	海老名市社協
5 雑収入	4,000		1,000		3,000	炊飯袋, 受取利子
6 前年度繰越金	225,545		227,195		△ 1,650	
合 計	431,545		350,195		81,350	

(支出の部)

科 目	H31年度予算(A)		前年度予算(B)		増減額 (A-B△減)	備 考
	事業費	事務費	事業費	事務費		
1 事業費	150,000		150,000		0	各種講座材料費、マニュアル整備
2 通信費		15,000		15,000	0	はがき、切手
3 事務費		60,000		20,000	40,000	コピー代、他事務用品
4 会議費		10,000		10,000	0	会場費
5 会 費		20,000		20,000	0	県災ボラ、海老名社協、他
6 広報費	70,000		70,000		0	ホームページ、ネットワークだより印刷代
7 交通費		70,000		20,000	50,000	市外研修会、各事業等参加
8 予備費		36,545		45,195	△ 8,650	
小 計	220,000	211,545	220,000	130,195	81,350	
合 計	431,545		350,195		81,350	

災害救援活動費繰越金	46,000円
------------	---------

海老名災害ボランティアネットワーク備品一覧表

No	品名	数量	単位	保管場所	
1	特定小電力ランシーバー	7	台	文化会館備蓄倉庫	EDVN購入
2	ポリバケツ	4	台	"	EDVN購入
3	ブルーシート	5	個	"	"
4	寝袋	80	枚	"	海老名市より
5	白ビニールゼッケン	20	個	"	海老名市より
6	白ビニール腕章	18	着	"	海老名市より
7	メッシュオレンジゼッケン	75	枚	"	海老名市より
8	メッシュオレンジゼッケン	10	着	"	EDVN購入
9	のぼり旗	5	着	"	EDVN購入
10	プラスチックボックス	2	本	"	震災事業より
11	延長コードリール	1	個	"	"
12	延長コード	3	個	"	"
13	アスパックシート	62	個	"	海老名市より
14	折りたたみリヤカー	1	基	"	H20年度海老名市より
15	三方幕(2間×3間)	2	枚	"	H20年度海老名市より
16	ハンドマイク(軽量&防水)	2	基	"	H20年度海老名市より
17	災害時車用マグネットシート	9	式	"	H20年度海老名市より
18	テント(3mx6m)	2	基	"	H21・22年度海老名市より
19	同上四方幕	2	枚	"	H21・22年度海老名市より
20	特定小電力ランシーバー	4	式	"	寄 贈(H23)
21	ヘルメット	17	式	"	H23年度海老名市より
22	プラスチックボックス(ハルックコンテナBL-22)	16	個	"	EDVN購入(H22・23・25)
23	発電機	1	台	"	H24年度海老名市より
24	バルーン投光器付発電機	1	台	"	H25年度海老名市より
25	穴開けパンチ	4	台	"	EDVN購入
26	カセットボンベ式卓上コンロ	2	台	"	EDVN購入
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					
41					
42					
43					